

実践的能力と知識ーダメットによるジョークの分析を通してー

M. ダメットは論文“What Do I Know When I Know a Language?”で、スペイン語が話せるか聞かれて、「分かりません、試したことがないので」と答えるというジョークを取りあげている。本発表は、ダメットによるこの短い議論を分析することで、その意義を可能な限り一般化することを目指す。

まず背景として、言語能力が方法知でありながら命題を構成要素とするという中間的な性質をもつことが、ダメットの意味理論探究が可能であるために必要な条件であったことを示す。

次に、言語能力のこのような性質を、ダメットがこのジョークの分析を通じてどのように帰属させているかを検討する。本発表はさらに、「やり方」を学習によって定義するというアイデアを補足することでこの議論が説得力を増すという提案を行う。

最後に、発展的な見通しとして、言語能力に限らない、方法知と命題知をめぐる一般的な議論状況のなかに以上の議論をどのように位置付けられるのかを模索する。